

こんなとき配慮していますか???

今年度も終わりに近づき、卒業式や終了式の時期になってきましたね。

会場では視覚や聴覚に困難さがある子どもたちにはどんな配慮ができるのでしょうか???

「教室での授業では、前のほうに座るなど配慮しているけれども、大きい行事などではクラスごとに座っている」ということがちらほら…。

教室から出て指導するときの環境もしっかり考えていきたいですね♪



- ☆前の方に、配慮が必要な子どもたちの席を設ける。(視覚・聴覚)
- ☆様子を撮影してテレビパソコンに映し、後ろでも見るようにする。(視覚)
- ☆スライドや話す内容などを手元で見ることができる工夫を考える。
印刷したり、タブレットを使ったりなど。(視覚・聴覚)
- ☆話している人がすぐに見つかるように目印を決めておく。話す人が立つ位置を決めておく。(視覚・聴覚)
- ☆騒音が少ないように聞く姿勢の指導を共通して取り組む。(聴覚)
- ☆ノートテイクや手話通訳を準備する。(聴覚)
- ☆スライドなどは「文字の大きさ」と「文字と文字の間隔」を考える。(視覚)
- ☆カーテンを閉めるなど注目するところの光の反射を調整する。(視覚)

等

ホワイトボード(小)の活用法

(杉山)

もうすぐ今年度もおわりですね。年度末は次年度への引継ぎなどが行われる時期です。

今回は、みくまの支援学校で行われているホワイトボードの活用法について紹介します。ホワイトボードは100円均一などで売られているもので、手軽に活用できます。教室の引継ぎなどにも役立っていただければ幸いです。

ホワイトボード(小)の活用事例



①朝の会、終わりの会の進行表

(マグネットを取り付けた手順表を貼り付けておくと、取り外しできるので、項目が終わるごとに外していただけます。)

②下校確認表

(児童・生徒の目の前で確認できます。)

③作業や図工、調理などの手順表

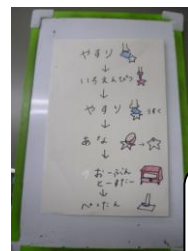
(これがあることで、見通しを持ってすることができます。自分で確認しながら、わかってすることもできます。)

④通常のホワイトボードとして

(大勢の児童・生徒がいる際、通常のホワイトボードとして使用し、対象の児童・生徒の手元でイラストや文字などを描きながら確認できます。)



②



③

④



①～④とも、書き加えたり、消したりが簡単にできます。

(須井)